

九州・沖縄地区本部（菊池康男地区本部長）
長崎県本部（土井榮一本部長）

日時／平成30年2月14日（水）14時～15時30分
場所／長崎市民生活プラザ

平成27年2月に実施以来、3年ぶり7回目となる地域懇談会。DVDでAOUの組織や活動等を紹介した後、フリートーキング形式で懇談を行った。地域・行政側の主な意見・要望等は次の通り。なお、来賓のうち2名が前回に引き続きの出席。

◎夕方以降、年少者が保護者同伴で遊べるようになったが、あまり守られていないのではないかと。また、店内の置き引き対策は。（市少年センター）

【業界】年少者の立入時間については声かけの徹底、30分前にはアナウンスをして5分前には直接の案内をしている。もし、守られていない店舗があれば、特定し店舗ごとに改善していく。また、現在、置き引きは防犯カメラの設置や注意書き、従業員の声かけ等の効果で減ってきている。
◎巡回時、親が子どもをゲームセンターやおもちゃ

屋などに置いて買い物をしている傾向がみられる。（補導員連絡協議会）

【業界】単独のお子様を見かけた際は保護者の所在を確認するようにしている。声かけに慣れている補導員の方々には今後もご指導ご協力をお願いしたい。◎託児所代わりにゲームセンターが使われている状況を聞くと、保護者の責任は非常に大事だと思う。色々な情報を持ち帰りたい。（PTA連合会）
◎声かけをこまめに行っていると聞いて少し安心した。（県校長会）

◎関西でクレーンゲームの詐欺事件があったが、このようなことは過去にあったのか。（県教育庁）

【業界】我々は景品を獲得し帰って帰っていただくことを方針としているので、そういったことはあり得ない。実は、AOUからも所轄に、何とかしてほしいとお願ひに行った経緯がある。悪質な店舗があれば、当局に今後も情報提供していく。

◎違法店舗、問題ある施設を見かけたら情報を寄せてほしい。また、eスポーツへの対応は。（県警）
【業界】eスポーツについては景品表示法、風適法の問題もあり、行政関連には報告を随時行い、現在、慎重に検討を行っている状況。

【来賓(9名)】	
長崎県福祉保健部子供政策局こども未来課 課長補佐	井村 直俊氏
長崎県教育庁義務教育課児童生徒支援室 課長補佐	山口 孝広氏
長崎県警察本部生活環境課営業第一係 係長	鎌塚 博紀氏
(公社)長崎県防犯協会連合会 次長	岩永 光則氏
長崎県少年補導員連絡協議会 会長	小崎 修三氏
長崎県校長会 生徒指導部長	尾下 直士氏
長崎県青少年育成県民会議 事務局長	岩永 嘉人氏
長崎県PTA連合会 事務局長	橋 貞幸氏
長崎市少年センター 所長	木下 和敏氏
【主催(9名)】	
AOU会長(九州・沖縄地区本部長／福岡県本部長)	菊池 康男
AOU専務理事	鈴木 剛夫
長崎県本部長	土井 榮一
九州・沖縄地区本部事務局長	西浦 誠二
長崎県本部事務局	本田 賢光 他



【来賓(8名)】	
沖縄県子ども生活福祉部青少年・子ども家庭課 青少年育成班主幹	赤嶺 裕之氏
沖縄県警察本部生活安全部少年課少年サポートセンター 補導・被害少年対策補佐	仲間 聡氏
沖縄県警察本部生活安全部少年課少年サポートセンター 健全育成補佐	新垣 和哉氏
沖縄県少年補導員会連絡協議会 会長	中村 幸孝氏
(公社)沖縄県青少年育成県民会議 事務局長	金城 和則氏
(公社)沖縄県青少年育成県民会議 主幹	末吉 斉氏
(一社)沖縄県PTA連合会 事務局長	古堅 宗男氏
沖縄県高等学校PTA連合会 会長	仲西 春雅氏
【主催(16名)】	
(公財)沖縄県防犯協会連合会 専務理事	新屋 良徳
AOU会長(九州・沖縄地区本部長／福岡県本部長)	菊池 康男
AOU専務理事	鈴木 剛夫
沖縄県本部長	仲順 恵里子
鹿児島県本部長	犬伏 和章
埼玉県本部長	沼野 進
沖縄県本部顧問	仲順 利治
AOU理事／研修委員長	内田 慎一
九州・沖縄地区本部／福岡県本部 事務局長	西浦 誠二 他

九州・沖縄地区本部（菊池康男地区本部長）
沖縄県本部（仲順恵里子本部長）

日時／平成30年2月22日（木）14時～16時
場所／サザンプラザ海邦

平成25年10月に実施以来、およそ4年ぶり7回目となる地域懇談会。今回は、初めて沖縄県防犯協会連合会との共催というスタイルで開催となった。なお、沖縄県では風適法改正後も従来通りの条例（年少者の立入時間は保護者同伴でも20時まで）となっており、業界から保護者同伴時は22時まで立入できるように引き続き提案していく旨を説明。地域・行政側の主な意見・要望等は次の通り。



◎29年のゲームセンターの補導41件。うちAOU加盟店はゼロ。（県警）
◎青少年指導員養成講座を初めて知ったが、素晴らしい。指導員がいる店舗にはステッカー等を掲示したかどうか。
◎学力アップにつながるようなジャンルのゲームを開発できないか。
◎スマホの普及でSNS利用が増え、それに伴ういじめ問題もある。
◎不登校問題を抱えている青少年に心を開いてもらうためには、ボーリングやゲームセンターなどで一緒に遊びながら会話するのが理想。
◎ラブレイドの延長で、こうしたテーマでの施設の割引等を検討したところ、このように前向きな懇談会は、是非、毎年開催してもらいたい。